

流山市民活動推進センター運営管理業務委託に係る
サウンディング型市場調査の結果概要

流山市では、平成18年より市民活動推進センターを設置し、新たな公共サービスの担い手となる市民活動団体、さらにはこれからの市民活動の担い手となる市民（以下、市民等）の窓口拠点として市民活動を総合的に支援しています。

令和3年度秋ごろに予定している令和4年度以降の運営事業者の公募に向けて、公募への参加意欲のある事業者の皆様と対話を通じて、事業者の意向等を把握して公募に向けて条件を整理するために、サウンディング型市場調査を実施しました。この度、内容がまとまりましたのでその結果概要を公表します。

1 サウンディング型市場調査実施の経緯

実施要領の公表（市ホームページへの掲載）	令和3年7月1日（木）
サウンディング参加申込期限	令和3年7月14日（水）
サウンディング実施日時及び場所の連絡	令和3年7月21日（水）
サウンディングの実施	令和3年7月27日（火）から令和3年7月29日（木）
実施結果概要の公表	令和3年8月16日（月）

2 参加状況

株式会社：4社

特定非営利活動法人：1社

3 サウンディング型市場調査の概要

対話の対象項目	対話概要
ア 公募事項にかかる参加資格について	・募集スケジュールにおいて、質疑回答から申請書提出期限の期間は2週間以上設けた方が、提案書をまとめやすいと思われる。 ・参加資格については、実績のある事業者を選び

	<p>たい場合は、資格条件を絞った方が良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション時間については15分が適切である。質疑応答時間については10分より長い場合の方が多い。 ・地域づくりの中核的な役割を果たす「社会教育士」の資格保有を参加資格条件の1つとして提案したい。
<p>イ 業務日について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が午後9時まで利用時間を延長した場合、職員1名を管理で午後9時まで残すと指定管理料増となるため、生涯学習センターの指定管理者に管理代行できるか模索したい。 ・流山の取り込みたい世代層を考えると平日17時～19時の相談業務がベストであると考えている。その時間帯に相談業務をセンター内でできないならば、オンラインでの相談を特化した方が流山市のニーズに合う。 ・他市の事例だと夜間利用可能日を指定している場合がある。 ・仕様書のような業務時間の記載の方が事業者としては調整しやすいが、人件費の積算が難しいので夜間の稼働日数等を示してほしい。 ・休館日についての意見はない。 ・開館時間については詳細に示していただいた方が、積算もしやすく人件費も調整しやすい。
<p>ウ 業務内容について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務としては中間支援組織としては基本的なことなので、通常業務ではあると思う。 ・「業務委託」での公募型プロポーザルであるため、指定管理者制度と違いどこまで自由に事業者提案をして良いか疑問である。 ・仕様において、従来の取り組みから拡充したいのか、またはどのような目標があるのかわかりや

	<p>すく示してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の流山で求められる中間支援ではNPOの知識だけでは対応しきれないと思われる。 ・年間のイベントや講座の回数を規模も含めて示していただきたい。 ・仕様概要の業務内容はセンターとして当たり前を実施する業務だとは思いますが、NPO活動支援のみでは今のセンターの在り方としては不十分である。 ・仕様概要（3）オの「市民活動推進センター運営協議会」について近隣市の場合、利用団体で構成するのではなく外部の有識者を呼んでアドバイスをしている。 ・情報誌の発信は可能であれば自治会等を通じて全戸配布したい。 ・仕様書からは、何を強化したいのかが読み取れないのでわかりやすく示してほしい。 ・市民活動団体同士の横のつながりが他市と比べて弱いことが課題であるため、センターとして注力すべきである。 ・情報誌については全世帯向けに発信を行いたい。
<p>エ 実施体制について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常設でコーディネーターを配置すると、人材雇用に費用がかかり運営費が大きく左右される。そのため常設ではなくスポット的にセンターに配置する方法が考えられる。 ・常勤職員常時2名（3名雇用・配置、コーディネーター兼務）が望ましい。 ・非常勤職員配置もしくはスポットでの専任コーディネーターの配置も検討されるが市民活動及び市民参画を活性化を促すうえで常勤職員兼コーデ

	<p>ィネーターの配置が最善である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室が室内にあるのが相談しにくい状況をつくっていると考える。センターのフロアに入った時から職員が見えるようなレイアウトにするだけでも利用しやすい雰囲気になるのでは。 ・施設の稼働率を示していただきたい。 ・業務経験から平日より休日に注力すべきである。 ・最低2名の人員配置とあるが、実際に運営をすると受付、相談、外部会議などで3名の配置は必要になるかと思われる。 ・コーディネーター能力を有するとはどの程度を想定しているか示してほしい。
<p>オ 委託料について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の委託金額に見合った内容で検討して判断したい。 ・最低賃金改定及び有給休暇取得義務化を踏まえた委託料を検討してほしい。 ・最善の人員体制で運営した場合の委託料が望ましいが、流山市の委託金額の上限に応じてフレキシブルに対応する。 ・支払方法については、毎月払いがベストである。仕様書に支払方法が記載された方が安心する。
<p>カ その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・センターのホームページのデザインを一新し、若い方の目を引くようなホームページにすれば、相談しやすくなるかもしれない。 ・会議室内の音がこもりやすい。何かしらの工夫が必要である。 ・「NPO法人の初回登録において事務所の住所をセンターに置いても良い」などとセンターのルールを緩和すると一定の需要が生まれるとともに、愛着が育まれるかもしれない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・同建物内にある生涯学習センターは、有料でありながら午前、午後、比較的利用が埋まっているように思われるので、無料である市民活動推進センターが稼働率が伸びていないとするならば、利用条件を緩和すれば稼働率も向上するのではないか。 ・支援としてNPO・市民活動団体と自治会は両輪であり、片方のみを支援してももう片方が衰退してしまうので、センターとしては両方支援したいと考えている。 ・今後の運営にはインターネット環境やZoomなどのオンラインツールの整備が必須となるので配備をしてほしい。 ・市民活動推進センターは地元や団体との関係構築が重要であり、委託期間が3年間であると不完全燃焼で終わってしまう。今後は委託期間を5年間など延長するように検討してほしい。 ・3年間の委託でプロポーザル形式では、事業の負担が大きい為、入札にすると応募しやすくなるのではないか。
--	--

4 サウンディング型市場調査実施結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、公募概要及び仕様書概要に関して上記のとおりご意見をいただきました。

今後、結果を踏まえて、事業者公募を実施する予定です。

5 サウンディング型市場調査実施結果に関する問い合わせ先

流山市役所市民生活部コミュニティ課

担当：安達、香月、長利

TEL 04-7150-6076

FAX 04-7159-0954

Email komyuniti@city.nagareyama.chiba.jp